

～元氣の出るエピソード～

季節は春になりつつありますが、新型コロナウイルスはいまだ終息が見られません。患者様は散歩に出ることもできず四季を感じる事が難しい状況です。

そこで、3階病棟では作業療法士とスタッフで協力し節分を行いました。節分は名前の通り「季節を分ける」ということを意味しております。患者様に節分の話をする「地方では〇〇って言うんだよ。」と教えていただきました。豆のパックを鬼の置物に当てるゲームでは、当たって倒れると「当たったー！」と笑い声が沸き起こっていました。福豆茶も飲んでいただき「このお茶はおいしいね。体が温まるよ。」と笑顔で言っていただきました。

患者様の一言一言が嬉しく、節分の行事を企画して本当に良かったと感じました。これからも、季節が感じられ少しでも楽しい時間を過ごしていただくことにより、患者様の病状安定につながる事がスタッフ一同のやりがいになります。

3階病棟ケアスタッフ 小林 恵梨奈

診もり短歌

デイケアのひな祭りの唄声
春まだきデイケアホールに聞こえる
老いらと唄うひな祭りの歌
Dr ねぎし

外来案内

診療科目		月	火	水	木	金	土
午前	認知症外来	鈴木	泉	泉	鈴木	鈴木・泉 (隔週)	休診
		根岸		一木 (3/3、3/17のみ)			
	一般内科	白濱		白濱			
午後(新患のみ)			鈴木		泉		休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	
8:45～11:30	13:00～15:00	9:00～12:00	14:00～17:00	現在 面会制限中※

※入院患者様への面会を全面禁止とさせていただきます。ご了承ください。
スカイプを利用したのオンライン面会は予約制のためご連絡ください。

 **蓮田よつば病院** 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

 **蓮田よつば病院**
デイケアわかば

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります
・紹介状
・お薬手帳をご持参ください。
予約時間の変更等につきましては、
13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

 毎月第一土曜日
10:00～12:00
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

はすカフェは現在中止しております。

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院

蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります

 **よつば通信** 

3月号 

発行日 令和3年3月1日

今年も早いものでもう三月を迎え、日ごとに春めいてまいりました。皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、新型コロナウイルスワクチンにおける医療従事者向けの先行接種が始まり、四月には高齢者の方から順次、ワクチン接種が実施されることとなりました。ワクチン接種の免疫により、新型コロナウイルス感染症の早期収束が期待されているところであります。

思えば私たち人類はあらゆる環境に順応できるよう常に進化を続けてきました。どんなに大きな困難であっても知恵を絞り、協力して助け合いながら乗り越えた歴史があります。この度の新型コロナウイルス感染症により人類はまた大きな進化を遂げ、必ずこの難局を乗り切れると確信しております。

当然ながら私たち医療従事者も病院の理念を胸に、患者様、ご家族様、地域の皆様に一日でも早く安心して暮らせる日常が訪れるよう、全力でその責務を果たしていく所存であります。引き続きご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

季節の変わり目でまだまだ寒い日もございますので、ご自愛の程心よりお祈り申し上げます。

事務部長 山崎裕樹

～よつばご飯～



※写真はデイケアの写真となります。

献立
主食(主菜): 恵方巻
副菜: キャベツとしらすのお浸し
副菜: フルーツみつ豆
汁: 呉汁

栄養価
エネルギー: 464kcal
たんぱく質: 17.4g
脂質: 10.0g 塩分: 3.4g
炭水化物: 74.8g

最近では2月の節分と言えば恵方巻が有名になりました。当院でも毎年節分には恵方巻を提供しております。ただし、海苔は高齢者にとって窒息のリスクがある食材ですので、柔らかくて噛み切りやすい薄焼き卵を使って提供しております。もちろん、手作りで調理師が1本1本丁寧に巻いております。

管理栄養士 水野俊



看護部の取り組み

看護部教育委員会の取り組み

「私たちは大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります」という病院理念に基づき、質の高い医療サービスを提供できる職員を育成することを目的として、当院では様々な研修を企画し実施しています。接遇研修、AEDについて、褥瘡予防や誤嚥防止のための姿勢について、認知症の基本、認知症の方とのコミュニケーション技法、高齢者虐待防止についてなどの全体研修をはじめ、毎年3月には症例や看護・介護実践をまとめた看護研究発表会を実施しています。日々の看護・介護実践を振り返ることで認知症ケアに関する学びを深めています。

また、各病棟では毎月認知症ケア専門士が中心となり、認知症ケアの勉強会を実施しています。新入職員に対しては基礎的な技術研修のほか、認知症専門病院としての役割や必要な知識を振り返る新入職研修を実施しています。さらに2年目看護師研修、中堅看護・介護職員研修、主任・副主任研修など経験年数や役割に沿った研修も実施し、継続的な自己研鑽の場を提供できるよう努めています。

今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点により、密を避けた少人数での開催や紙面上での開催が多くなりました。少人数開催のため同一内容の研修回数を増やしたりアンケート内容を充実させるなど個人の理解を深めるための工夫をまいりました。

今後も認知症ケアを提供する専門職としての知識を深める研修を企画開催し、実践力を高めていけるよう日々努力してまいります。

看護部副主任 認知症看護認定看護師 小藤 静香

～よつば訪問看護リハビリステーション～

おうち時間が増えた今、手芸や作品作りをしてみたいと思う事はありませんか。

訪問リハビリではストレッチや体操、生活動作練習だけでなく、趣味活動を取り入れて行うことがあります。塗り絵や折り紙もちろんですが、写真のようなカゴやスクラッチアート、ネット手芸などもリハビリとして行っています。＊写真は実際に利用者さんと作った作品です。すべて100円ショップで材料を調達でき、100～500円くらいです。

片手が動かなくても、手が震えても、集中力が続きにくくても、方法や道具・環境を工夫することで楽しく作り上げることができます。完成した時の充実感と達成感は格別です。

「やってみたいけど難しそう...」「どうやっていいかわからない」という方がいましたら、ぜひお声掛けください！



よつば訪問看護リハビリステーション 松嶋 志保



薬剤科からのお知らせ

～残薬解消の取り組み～

当院では、診察時、お薬をお渡しする時に皆様がお薬をしっかりと飲んでいるか、「残薬」の確認をしております。

「残薬」とは本来飲むべきだったお薬を飲み忘れたり、病院を受診する間隔が薬の処方日より短くなった場合などの理由で余ってしまったお薬のことをいいます。

日本薬剤師会の調査によると、在宅医療を受けている75歳以上の患者様でみても、残薬の総額は年間およそ475億円にのぼると推計され、日本全体では1,000億円以上の残薬があると言われています。

また、お薬の服用方法の煩雑さや、薬の数の多さからお薬を用法用量通りにしっかりと飲んでいる人は患者全体の2～3割程度ともいわれております。

お薬の種類によっては食後の用法になっていても食事の前に飲んでよいお薬や、朝食後に飲んでいる薬を夕食後に飲み方を変更したりすることができます。錠剤の大きさが大きくて飲みにくい場合は粉薬やシロップ剤などの飲みやすい形態のお薬に変更したりすることもできます。もしお薬を飲み忘れてしまう、飲みにくいお薬などがあるようでしたら、ぜひ医師、薬剤師に相談ください。また「残薬」がある場合、診察時、お薬をお渡しするときに申し出ていただくか、「残薬」をご持参いただければ残っているお薬に合わせて処方するお薬を調節することもできます。

お薬は用法用量どおりにしっかりと飲むことで効果を発揮します。「残薬」の他にもお薬のことで何かお困りでしたら、医師、薬剤師まで相談ください。

薬剤科 阿部 圭吾



～よつば病院作業療法風景～

コーヒー療法



作業活動



今月の予定

○誕生会 2階・3階病棟
随時おこないます

感染症対策のためはすカフェ、クラブ活動等を中止させていただきます。ご了承ください。